

製品名: サイトケラチン 13 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86647**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:5000-1:50000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:50 kDa; Observed MW:50 kDa

抗原情報

遺伝子名	Cytokeratin 13
別名	K13; CK13; WSN2
遺伝子 ID	3860
SwissProt ID	P13646
免疫原	ヒトサイトケラチン 13 の合成ペプチド

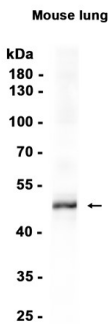
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ケラチン遺伝子ファミリーのメンバーです。ケラチンは、上皮細胞の構造的完全性

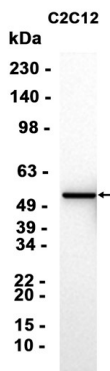
を担う中間径フィラメントタンパク質であり、サイトケラチンと毛髪ケラチンに細分されます。I型サイトケラチンの大部分は、異型ケラチン鎖が対になって配列した酸性タンパク質で構成されています。このI型サイトケラチンはケラチン4と対を形成し、非角化重層上皮の基底上層で発現します。この遺伝子とケラチン4の変異は、常染色体優性遺伝疾患である白色海綿状母斑と関連付けられています。I型サイトケラチンは、染色体17q21.2の領域に密集しています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じますが、すべてのバリエーションが報告されているわけではありません。[RefSeq提供、2008年7月]

研究分野

画像データ



1:1000のサイトケラチン13ウサギモノクローナル抗体を使用したマウス肺組織抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86647を1:10000で使用してC2C12細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。